



パリ生まれの風景画家でバルビゾン派の巨匠である。

自然をありのままに写す作品はブーダンら初期の印象派の態度に近い。

ゴッホ最後の地となった南仏オーヴェール＝シュル＝オワーズの風光を発見したのも彼であり、銅版画にも優れたものがある。

シャルル＝フランソワ・ドービニー

1817－1878年

作品名 風景

サイズ 15号